

3 - 4 1982年12月28日三宅島近海の地震

The Earthquake near Miyakejima, December 28, 1982

気象庁地震予知情報課

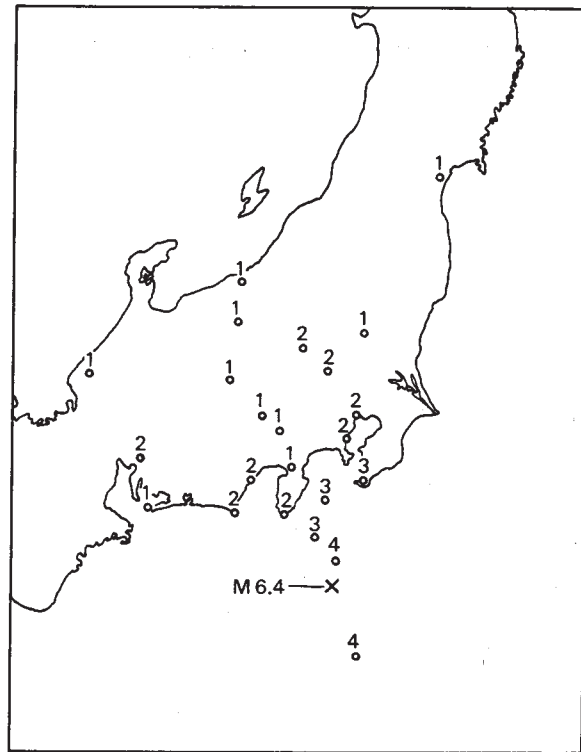
Earthquake Prediction Information Division, Japan Meteorological Agency

1982年12月27日15時33分に三宅島で震度1の地震が発生した。以後、三宅島の南方海域で地震が群発し、27日20時33分には三宅島で震度4、マグニチュード5.4の地震が発生、つづいて28日15時37分には今回の活動の中で最も大きいマグニチュード6.4の地震（震源：東経139度27分、北緯33度52分、深さ20km、発震時15時37分42.0秒）が発生した。第1図は28日15時37分の地震による震度分布であり、第2図はこの地震のメカニズムである。この地震では、三宅島、八丈島で震度4であったのをはじめ、関東地方から中部地方にかけて有感であった。

第3図は12月27日地震発生以来の伊東市鎌田における時間別・日別地震回数と有感地震の日別回数である。今回の活動で、有感地震は12月27日15時33分の地震にはじまり、1983年1月18日8時19分の地震まで計109回に及んだ。これを震度別にみると、最大震度4の地震が2回、3の地震が7回、2の地震が25回、1の地震が75回発生した。

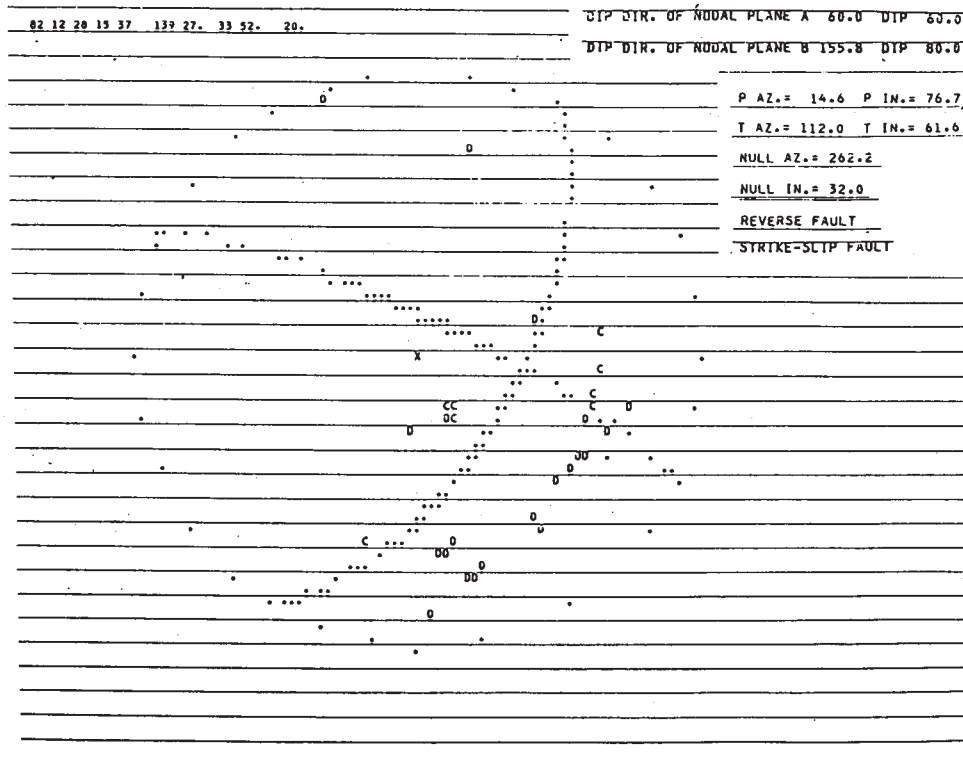
第4図は12月31日までに発生した地震のうちマグニチュード3.0以上の地震の震央分布で、図の(A)は28日15時37分の本震までの地震の分布であり、図の(B)は前震・余震を合せたものの分布である。前震は三宅島南方の狭い範囲に集中して起っており、余震でも北へやや広がってはいるがそれほど大きな広がりは見られない。今回の地震活動で震源の深さは0～30km程度で全般に浅かった。

第5図は1926年から1980年までの、三宅島近海およびその周辺における深さ100km未満の地震の震央分布である。図の中で点線で囲った範囲は今回の活動域である。



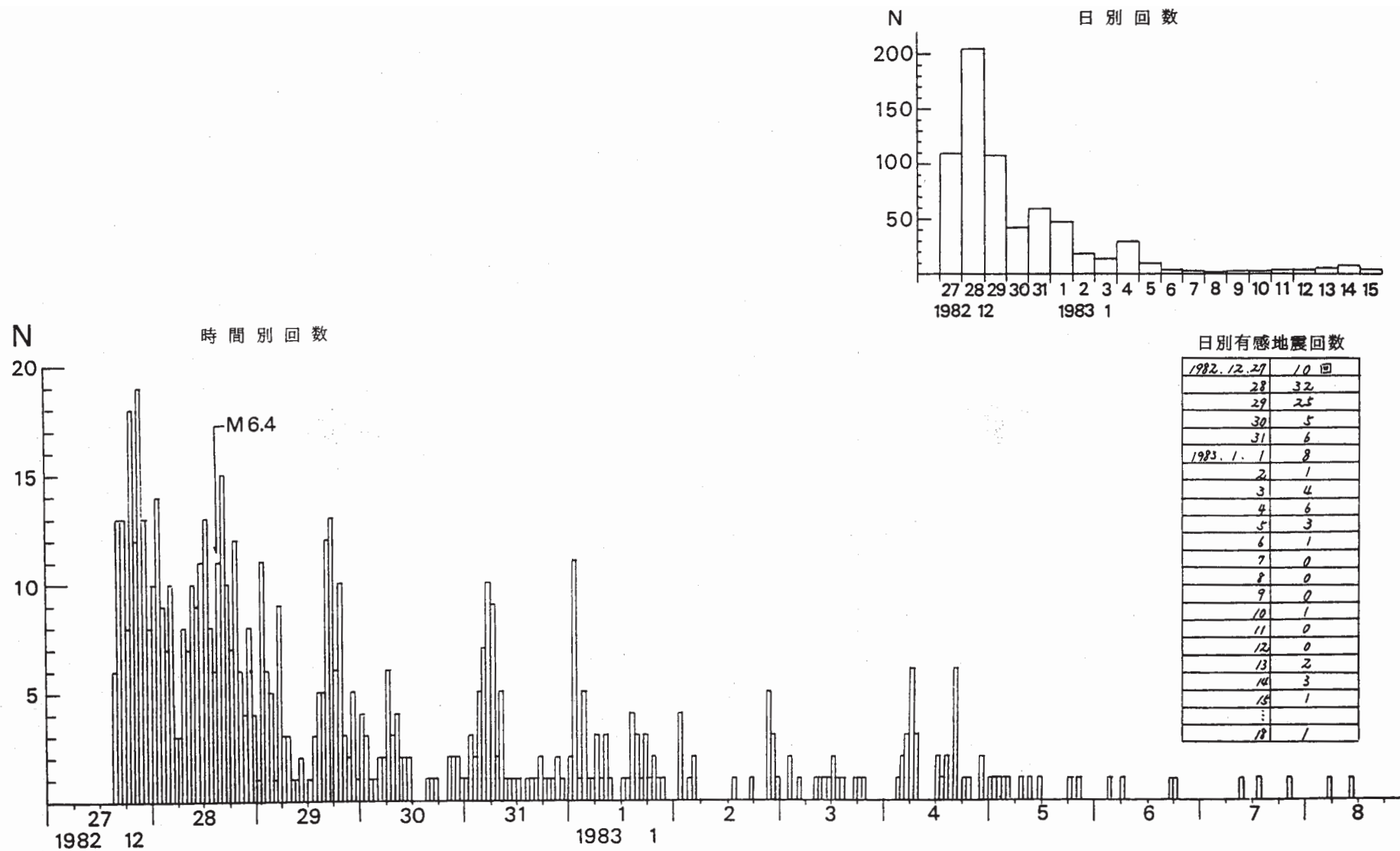
第1図 1982年12月28日三宅島近海の地震による震度分布

Fig. 1 Distribution of seismic intensities for the earthquake near Miyakejima, December 28, 1982.



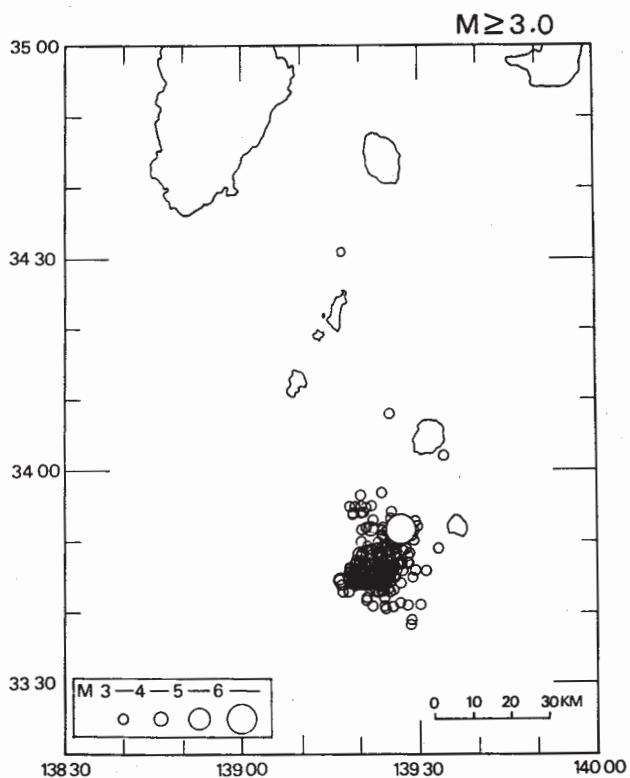
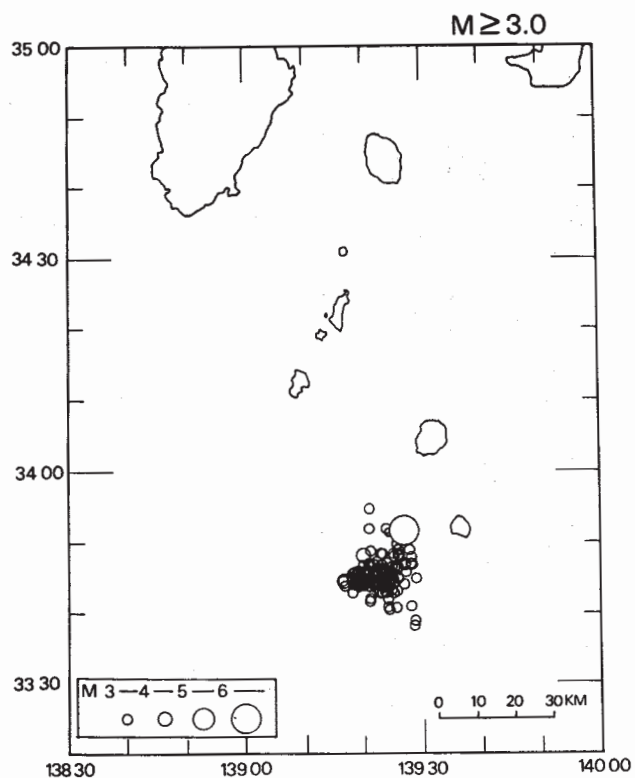
第2図 1982年12月28日三宅島近海の地震のメカニズム解 (上半球投影)

Fig. 2 Source mechanism of main shock, December 28, 1982 (upper hemisphere).



第3図 1982年12月～1983年1月、三宅島近海の地震の伊東市鎌田における時間別・日別回数

Fig. 3 Hourly and daily numbers of earthquakes near Miyakejima, December, 1982 - January, 1983.

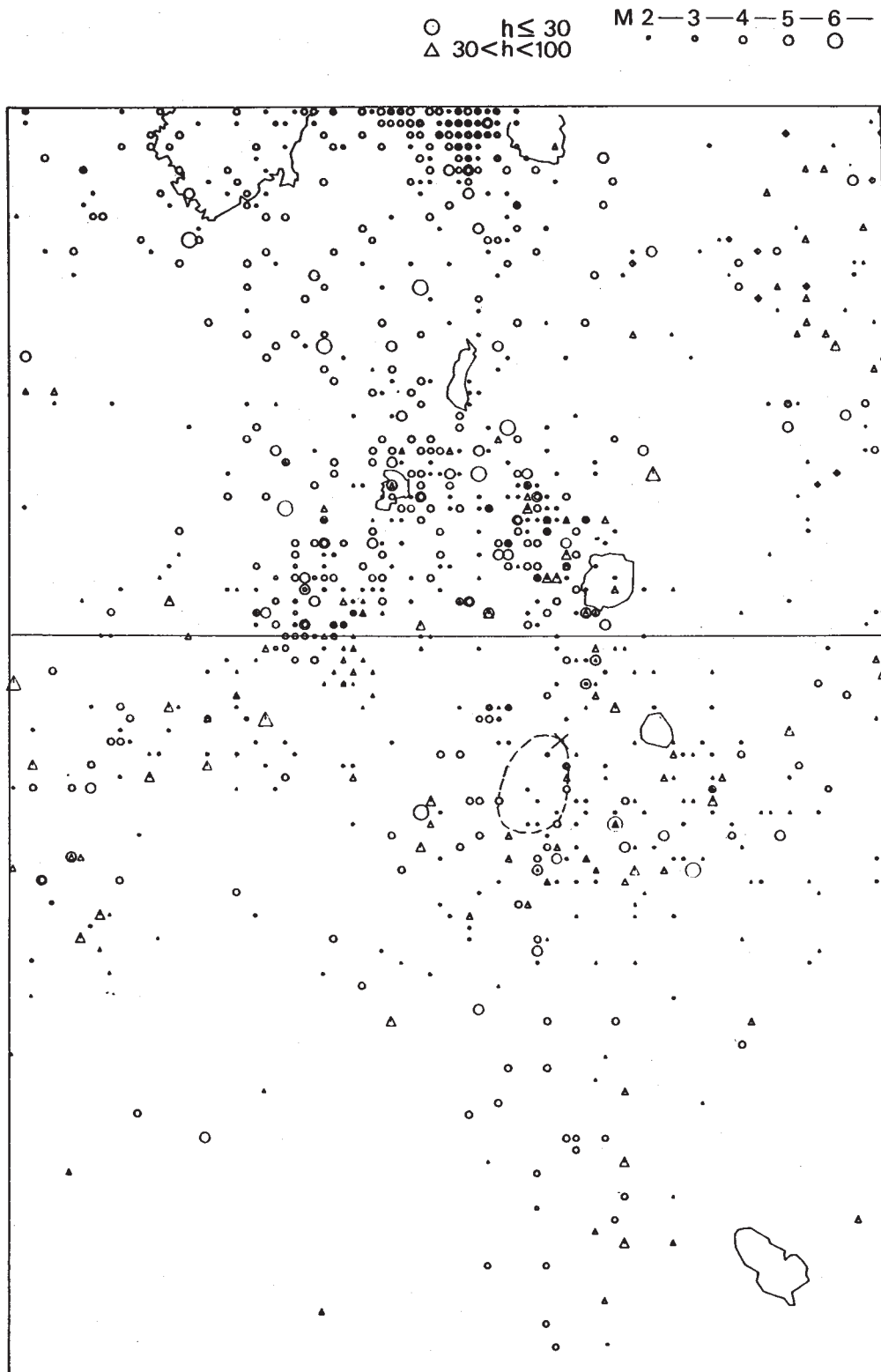


第4図(A), (B) 1982年12月28日三宅島近海の地震の前震・余震分布
(12月31日まで, $M \geq 3.0$)

Fig. 4 (A) and (B) Distribution of epicenters of fore- and after-shocks with $M \geq 3.0$ for the earthquake near Miyakejima (December 27 - 31, 1982).

(A) Distribution of epicenters of foreshocks.

(B) Distribution of epicenters of fore- and after-shocks.



第5図 三宅島近海およびその周辺の地震活動（1926～1980）

Fig. 5 Seismic activities near Miyakejima (1926 - 1980).